

新 玉

眞宮起雲

瑠璃の扉にわけのいろ榮えはのどくと河面かけて
初日はのぼる

天つ女がとしはぎ歌の譜に合せ五十鈴かはみつせ
ゝらぎゝよき

かきぞめに題するひとの一人なくて淋しことしも
野に果てん哉

河の瀬に若水汲むと詩にやせしわがふもわにもゑ
みふくまるゝ

繪ぎぬのべて御題うつさん窓ちかくはつ日うらゝ
に梅香奇しき

詩に榮えむのぞみのいろか初わけのくれなゐなが
る河波のあや

ゆく水に年の光りのほのめきてわが大はしま永久
にきよかれ

* * * *

短歌募集

▲課題 随意▲べ切 毎月末日

▲發表 本誌上▲賞品 三光に粗景

▲選評 眞宮起雲

▲投稿 用紙随意左記の處に送らるべし

但添削返稿は往復葉書又は印紙封入の事

伊勢國白子局區内みとり短歌會

わが世 (秀逸)

○ 飯塚 曉 霞

われにかへり涙拂ふてみあぐれば片われ月のいま